

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 55号

2013/07/01 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：先週と変わらない相場展開、この価格帯が当面の底辺と予測する。

①週最高：LDN 市場 £1,458 / NY 市場 \$2,165 (6/28, 6/26)	先週比 LDN+ £6 / NY-\$51
②週最低：LDN 市場 £1,420 / NY 市場 \$2,149 (6/24)	先週比 LDN - £11 / NY - \$2
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場 £38 (傾向→) / NY 市場 \$26 (傾向→)	
週内建玉推移：LDN 市場枚 240,556 ⇒ 243,922 枚	-935 枚
NY 市場 186,361 枚 ⇒ 178,779 枚	-7,582 枚

【6月24日(月)】ニューヨーク3日続落、ロンドン反落

両市場とも下落。チャート上の主要な水準を割り込んだことから、ファンダ筋は引き続きロングポジションを解消した。

ロンドンのココア先物ブローカーによると、「西アフリカの天候は収穫にとって良好で、供給が増えることを示唆している」と話した。

ニューヨーク市場の9月きりは2ドル(0.1%)安の**2149ドル**。この日の取引では一時、2カ月半ぶりとなる2135ドルを付けていた。ロンドン市場の9月きりは9ポンド(0.6%)安の1428ポンドで引けた。一時は、**1420ポンド**まで下落し、3月上旬以来の安値を付けた。

【6月25日(火)】ニューヨークは4日ぶり反発、ロンドンも反発

ニューヨーク市場のココア先物は、4営業日ぶりに反発。前日に2カ月半ぶり安値を付けたことで、テクニカルなサポートがみつき、序盤の下げから切り返した。

9月きりは、14ドル(0.7%)高の2163ドルで終了した。前日付けた2カ月半ぶり安値の2135ドルに接近するにつれ、テクニカルなサポートがみられた。

ビジョン・フィナンシャル・マーケットツ(シカゴ)のアナリスト、ボイド・クルーエル氏は「2130ドルの水準では、テクニカルなサポートがみられる。最近の急落で、目先の底値にめどがついたかもしれない」と話した。ロンドン市場の9月きりは、10ポンド(0.7%)高の1438ポンドと反発して終了。一時は1419ポンドと、3月上旬以来の安値まで下落した。

【6月26日(水)】両市場とも続伸

両市場とも続伸。

ニューヨーク市場のココア先物9月きりは、2ドル高の2165ドルで終了。24日には2カ月半ぶり安値の2135ドルまで下げていた。

ただ、ディーラーらは需要の判断基準となる圧砕データが思わしくないと予想しており、一段安となるリスクがあるとみている。

ロンドン市場の9月きりは16ポンド(1.1%)高の1454ポンドで引けた。英ポンド安が支援材料となった

【6月27日(木)】両市場とも反落

両市場とも反落して終了。手じまい売りに押された。

ニューヨーク市場の9月きり終値は17ドル(0.8%)安の2148ドル。クレディ・スイスのアナリスト、カリム・シェリフ氏は「ココアは買い持ち高が膨らんでいる。今後数週間でかなりの巻き戻しがあれば、相場は若干軟化するだろう」と述べた。ロンドン市場の9月きりは5ポンド(0.3%)安の1449ポンドで引けた。

【6月28日(金)】両市場とも反発

ニューヨーク市場は反発。9月きりは16ドル(0.7%)高の2164ドルで引けた。

序盤は下落する場面があったものの、実需筋やファンド筋の買いが膨らみ切り返した。

ディーラーらは、主要産地国であるコートジボワールとガーナは、既に新穀をかなりの規模で売却しており、相場上昇を待って様子見姿勢のようだと指摘した。ロンドン市場も反発、9月きりは9ポンド(0.6%)高の1458ポンドで終了した。

2. ココアバター価格、ロンドン・ココア先物比で4年ぶり高水準=ディーラー(6/29)

ディーラーが28日語ったところによると、今週のロンドン・ココア先物価格に対するココアバター価格の比率は2.03~2.10と、2009年以来4年ぶりの高水準となった。チョコレート製造会社による在庫補充が背景。2週間前は2.03~2.05だった。バターはチョコレートの口どけを良くする目的で原材料に用いられる。

米国の食品商社大手アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド(ADM)のココア事業売却計画を受けた、今後数カ月の供給懸念もココアバター価格を下支えした。一方、ココアパウダー価格はインドや中国などからの需要を受けて上昇した

3. インドネシア・ランポン州からの6月カカオ豆輸出数量前年対比551%(7/1)

インドネシアのスマトラ島のランポン州からの6月度のカカオ豆輸出数量が前年対比551%の5791.2トンと急増したことが政府発表の輸出統計資料で判明した。

インドネシア全体での2013年のカカオ豆生産数量はカカオ栽培方法の改善が起因し、前年対比11%上昇で450,000トンから500,000トンになる見込み・

また、2013年のカカオ豆の海外への輸出数量は、国内のカカオ磨砕工場の処理能力の拡大に伴い、昨年

の 130,000 トンから 100,000 トンに減少する見込みである。



赤の点線・・・スマトラ島 オレンジの実線・・・ランポン州

Lampung 州からのカカオ豆輸出数量 2012～2013

月	数量 (トン)	前年対比
June	5,791.20	551
May	3,606.80	42
April	2,235	193
March	660.4	-49
February	254	-63
January	609.60	-76
December	--	--
November	1,270.00	-68
October	4,493.26	+468.8
September	711.2	-21
August	558.76	-75
July	3,174.8	+18.7
June	889	-83.2
May	2,540	-27
April	762	+20
March	1,300	-76
February	691.9	-74
January	2,514.6	+52
2012 TOTAL:	18,905.52	-40

4,コートジボワールのカカオ豆着荷、23日時点で前年上回る=103万トン前後(6/18)

複数の輸出業者の推計によると、2012年10月の年度入り以降、今月23日までのコートジボワール・主要2港(アビジャン港、サンペドロ港)のカカオ豆着荷量は103.2万トン前後となり、前年同期(122.7万トン)を上回った。6月17~23日の2港のカカオ豆着荷量は推計2.2万トン前後で、前年の同週の着荷数量の1.7万トンからは上昇した。

5,ガーナ、カカオ磨砕&チョコレート工場CPC社、チョコ製品部門の製造を増加(6/28)

Cocoa Processing Company(以下CPC社)は現在同社の収入の8-10%を占めるチョコレート製品部門の製造を増加させる見込みであることを発表した。

年間のチョコレートの製造数量は現在まだ1,013トンであるが、2011年、2012年と年間計画の80%以上は達成をしており、経営陣は今後、収益事業として西アフリカ周辺諸国に手チョコレート製品の消費を増加させていく取り組みをしていく計画だ。

CPC社の代表取締役のジャコブ氏は今週木曜日に開催された同社の年次総会議にて上記の計画を発表した。

また近年の事業成果については、自社のカカオ豆磨砕数量の生産数量目標であった24,000を達成することが出来なかったが、ジャコブ氏によれば2012年度は電力や水の供給の問題等インフラ面の課題があったにも関わらず、この10年間では最大となる22,463トンのカカオ豆磨砕製造を行う事が出来た。

2013年度以降については、水の供給の問題が解決し、電力供給の問題についても新しい電力設備の設置が終了しており安定した工場運営可能となる見込みである。

CPC社の工場全体の製造能力は現在年間64,500トンであるが、実際の製造実績は25~30%の製造にとどまっている。

しかしながらジャコブ氏は今後の事業運営に対しては非常に前向きであり、同社は今後生産数量の拡大の目標を達成していけると説明している。

CPC社は1965年に設立され、カカオ一次加工品(カカオマス、ココアバター、ココアパウダー)、チョコレート製品、小売用チョコレート、チョコレートスプレッドやドリンク用ココア等を製造している。

小売用のチョコレート、カカオ製品は“Golden Tree”というブランド名でガーナを中心に展開している。

***このNo6のニュースはロイターではなく、独自の情報ソースより入手し編集しております。**

今週の関連ニュース)

米政府は過剰砂糖を買い取り、エタノールメーカーに損失覚悟で売却する制度の発動に近づいている。このところ軟調な国内砂糖相場を押し上げ、農務省が砂糖価格維持を目的に貸し出した6億2000万ドルが債務不履行になるのを防ぐのが狙い。

ホワイトハウス予算事務局は27日、農務省に対して制度発動を承認。これで同省が融資の担保となっている砂糖を差し押さえ前に買い取り、エタノールメーカーに売る措置を開始する基盤が整った。

ただアナリストの中には、砂糖の差し押さえを防げるタイミングで同省が制度を実施する可能性を疑問視する向きもある。同省のデータによると、価格支持制度による融資の返済期限は7月末で、それ以後に損失が発生し、砂糖の差し押さえが認められる。

***特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております!!こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。**

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

〈お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先〉

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp